

そなえあれば
うれいなし

西淀防災 Times

Vol. 5 令和5年7月26日発行 担当：安東、國方

日頃から、本校の防災に関するご協力ありがとうございます。『西淀防災 Times Vol.4』では、9月5日に実施する防災教育についてお伝えします。



本校の防災教育について

本校では、令和3年度から防災教育を実施しています。過去2年間は、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の前後に実施し、本校でも南海トラフ地震が発生した時に大きな被害が想定されている地震や津波を中心に防災の学びを深めました。

今年度からは、9月1日の防災の日の前後を実施日と変更しています。そのため、今まで学習していた地震津波だけではなく、5月に学んだ火災のことも知る学習をしたり、非常用袋から避難に必要なものを考えたり、防災グッズを使ってみたりなど、今までより幅広く学びを深めることができるように計画しています。防災教育を通して、児童生徒だけではなく、先生方も防災意識を高めて、学校全体で防災について考えていきましょう！

今年度の防災教育について ※詳細は6月の職員会議資料をご覧ください。

授業を担当される先生方、ご協力ありがとうございます。後日、担当者には別紙で防災教育について連絡しますので、各学年のみなさんで確認をよろしくお願いいたします。担当を決めていますが、学年のみなさんで授業を考えていただき、児童生徒に防災教育の大切さについて伝えてほしいと思います。以下にて、全体にお伝えしたいことを載せています。

●時間について

6時間目を災害や防災について学ぶ時間、7時間目を備蓄食喫食の時間として設定していますが、昨年度のアンケートより、「防災について伝えることが多く、45分では少ない。」という意見が多くありました。今年度は、基本的には、時間通りの実施(13:55に防災についての学習終了)としますが、各クラスの実態に応じて、防災を学ぶ時間を長くしたり、喫食の時間を調整したりすることも可能にして実施を考えています。

●授業内容について

今年度も本校で保管している防災グッズ(保温シート、担架、手まわしライト)を貸し出しします。個数に限りがあるので、授業で使いたい方は、夏休み中に健康教育部 防災教育担当(安東、國方)までお願いします。

今後の防災教育を行う際のアイデアの引き出しを増やすために、今年度も略案をデータで残そうと思っています。授業者の先生方には、お忙しいところ申し訳ありませんが、作成のほどよろしくお願いいたします。

*昨年度のデータも、ぜひ参考にしてください！

●喫食について

備蓄食の有無については8月29日に保護者へ配付予定です。味見等で確認が必要な場合は各学年でご対応をよろしくお願いいたします。

白湯と水がないことを想定して喫食してください。



裏面もあります。

防災教育の教材紹介

次に、防災教育に関する ICT 教材をご紹介します。昨年度にご紹介した教材も載せています。今回も QR コードもご用意したので、よかったら読み取ってご覧ください。

①災害体験 AR

『東京海上日動火災保険』より公開している災害疑似体験ツールです。昨年度の『西淀防災 Times Vol.8』でも紹介しましたが、いくつかの学年で取り扱っていただき、ご好評でした。タブレット端末で設定するだけで、室内にいても浸水や土砂災害が起きた時の被害想定を視覚的に確認することができます。

※safari 等の位置情報の許可が必要です。

AppleTV などに繋ぐと、モニターを見ながら波の高さを確認できるため、自然災害の疑似体験を簡単にすることができます。

また、浸水に関しては 30 cm から 3m まで疑似体験ができるので、布などを使ってどれくらいの津波が来たら教室が浸水してしまうか等も確認して学ぶことができます。※「L2(内水氾濫は除く)」を選択してください。



②重ねるハザードマップ

『洪水』『土砂災害』『高潮』『津波』など 6 項目の災害リスクを、複数重ねて確認できるハザードマップです。位置情報なしでも、検索画面に地名を入力するだけでお住まいの地域の災害リスクを知ることができます。『凡例』を選べると、色別の想定被害の基準が出てくるので、お住まいの地域を照らしてみることができます。

また、災害リスクの項目を選択して、非常口マークをタップすると、近くの避難所を知ることができるので、被災した時の最寄りの避難場所も知ることが可能です。



③防災・危機管理 e-カレッジ

インターネット上で防災に関する学びの場を提供することを目的として、総務省消防庁が提供しているものです。『こども向け』『一般の方向け』『市町村長の方向け』と、年齢や役職によってコンテンツが分かれています。『こども向け』では、幼年～小学生を対象としたクイズ形式の動画があるので、先生方も児童生徒と一緒に、災害のことや身を守る方法について考えることができるようになっています。『台風』『地震』『津波』『火事』『備え』の 5 つのジャンルから学ぶことができ、動画の下には大人向けにリンク先の紹介があるので、誰でも防災について学ぶことが可能です。

